

広報 やまこし

1990
3月
第261号

■発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 □(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■3月1日発行



暖冬・小雪 こもごも 悲喜

昨年に引き続き、異常暖冬小雪となつた今年の冬。この影響で喜ぶ人、悲しむ人いろいろあるようだ。推測するに前者は一般住民の人たちで、まず何より雪降り・道踏みの苦労が大きく軽減されるのが一番の喜びでしょ。他にも通勤道路が良い、気温が高くて過ごしやすい等利点はいろいろありますが、雪が降らないということは、人々の気持を明るくします。ただ、スノーライダが減るという嬉しい悲鳴が時々聞こえます。後者は商売関係の人たちでしょう。除雪器具が売れないと、燃料の売れ行きが悪い、酒が売れないなどの声が聞こえます。

しかし、雪の多少で一番影響を受けるのは、なんといつてもスキー場です。昨年二月にオープンした古志高原スキー場も客の入りが心配されましたが、他のスキー場が雪不足に泣く中、タイミングの良い降雪に恵まれ、予想を上回る活況のようです。

また、平年の積雪量を見越して四月に計画された古志の火まつりも、小雪のため急きよ三月一日に変更されました。これも暖冬で泣かされた方でしょうか。

写真は種差原地区の雪上レクリエーション大会で、保育所の子供たちが「タイヤ乗り」で楽しんでいるところです。当日二月一日ころは、平年なら天候は雪か運が良くて晴。しかし、今年は予想外の大雪。傘をさしての雪上レクリエーション大会となりました。雪には強い種差原地区民も雨には勝てず、午後の部は小学校体育館内で行われました。これも暖冬で泣かされた方でしょうか。

人口の動き
(2.1.31現在)

■人口 3,036人(-13) 男 1,536・女 1,500 ■世帯数 815(-1)
■1月中のうごき □出生1 □死亡2 □転入2 □転出14

**交通災害共済
加入者募集中！**

お申し込みは、3月31日まで
家族そろつて、ご加入ください

みなさまから毎年ご加入いただいている「交通災害共済」は、住民が交通事故によって死んでしまったり、けがをしたとき、その被災者に見舞金を贈り、生活の安定と福祉の増進に役立てるため、県内の一一

二の全市町村が共同で運営している相互扶助制度です。

掛金はわずか一人三五〇円で、見舞金は最高一〇〇万円という、加入者にはたいへん有利な制度であります。多数ご加入ください。

平成二年度
の高齢者住宅
整備資金の
申込受付

△対象者——満六十歳以上の老人と同居し、老人専用居室等を造る人で、所得税がかからない人。

△貸付金額——一百二万円

△返済方法——十年の元利均等償還(半年賦)

△利 率——年三・二%

△連帯保証人——村内に住む人二人

△申込期限——四月十三日(金)

△申込先——役場住民課

みんなから毎年ご加入いただいている「交通災害共済」は、住民が交通事故によって死んでしまったり、けがをしたとき、その被災者に見舞金を贈り、生活の安定と福祉の増進に役立てるため、県内の一一

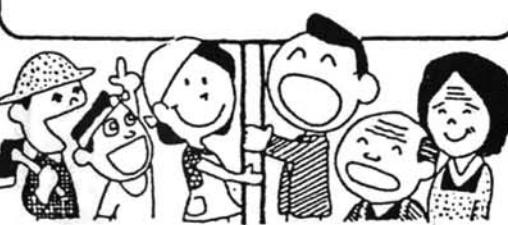
二の全市町村が共同で運営している相互扶助制度です。

掛金はわずか一人三五〇円で、見舞金は最高一〇〇万円という、加入者にはたいへん有利な制度であります。多数ご加入ください。

国民年金 4月から保険料が 月額8,400円に

付加保険料(400円)を納めている人は、8,800円です。

国民年金の納付書は、納付後コンピューター処理しますので、なくしたり破つたりしないようお願いします。



一長岡保健所から— 食品衛生今昔物語開催のご案内

長岡保健所では、さわやかりビング推進事業の一環として「食品衛生今昔物語」を開きます。これは、地域のみなさまから保健所と交流を深めていただき、ご理解いただきために行うもので、食品や食器の時代による移り変わりを展示したり、地域の特産品の即売等をいたします。

●申込期間 平成二年二月一日から二月二〇日まで
●会場 長岡市厚生会館

●展示 昔と今の食品や食器具の時代による移り変わりを展示したり、地域の特産品の即売等をいたします。

●内容 食品の見分け方コンテスト、相談コーナー、映写会

●申込先 役場住民課

●申込期間 平成二年三月一六日(金)
●会場 長岡市厚生会館

●内容 食品の見分け方コンテスト、相談コーナー、映写会

●申込先 役場住民課

●申込期間 平成二年三月一七日(土)
●会場 午前一〇時から午後二時まで
●内容 生鮮食品の見分け方コンテスト、相談コーナー、映写会

●申込先 役場住民課

※お問い合わせは産業課(☎五九一三三二〇)へどうぞ。

中小企業設備近代化資金 申込受付

県では、設備の近代化を計画されている中小企業者に対し、無利息の「中小企業設備近代化資金」を貸し付けています。

借り入れを希望される人は、産業課にお申込みください。なお、資金名 中小企業設備近代化資

貸付内示前に契約または設置された設備については、貸付対象とはなりませんので、設備の導入を予定している人は、早めにお申込みください。

●申込期間 平成二年二月一日から二月二〇日まで
●会場 長岡市厚生会館

●内容 食品の見分け方コンテスト、相談コーナー、映写会

●申込先 役場住民課

※お問い合わせは産業課(☎五九一三三二〇)へどうぞ。



お知らせ

井関さんは親しみやすい和歌山弁で、主に水作りの大切さを話され、参加者のみなさんは熱心にメモをとつたり質問をしたりして、約三時間に及ぶ研究会も時間のたつの



歳時記

残雪の片隅に、そつとのぞく小さな緑。ふきのとうです。手を触れてみると、周りの土のほのかなぬくもりが感じられます。ふきのとうは、春の訪れを告げる。使者のです。

土手の枯れ草の間や野原のどう——きちんと味噌汁に浮かべたりすると、春が来た喜びで心がはずみます。

とはいっても、最近は年が明けないうちから、ふきのとうをスーパーなどの売場で見かけます。栽培山菜が注目されたのは、

ふきのとう

内容はまず井関さん（全日本愛鱗会和歌山県支部事務局長・水作り研究では定評がある）の講演で始まり、後半には参加者からの質問方式で研究会が進められました。井関さんは親しみやすい和歌山弁で、主に水作りの大切さを話され、参加者のみなさんは熱心にメモをとつたり質問をしたりして、約三時間に及ぶ研究会も時間のたつの

55人が参加、魚病研究会

——錦鯉飼育はまず水づくり——
井関堯之氏が講演

一月八日に村民会館で「魚病研究会」が開かれました。これは漁協青年部が錦鯉飼育上一番注意しなければならない魚病対策について、錦鯉飼育者自ら理解を深めてもらいたい、村内の錦鯉振興をはかることを目的に主催したものです。

午後六時三〇分の開会時には、五〇人分用意した椅子がほぼ満席。最終的には五五人が参加しました。漁協青年部会員はもとより、村内の会員以外の人たちにも広く案内をしたため、参加者の約半数は会員以外の人たちでした。参加者の顔ぶれを見ると、村内の主な錦鯉飼育者はほとんどが参加されたようだ。錦鯉の病気に対するみなさんの関心の高さが見てとれました。

内容はまず井関さん（全日本愛鱗会和歌山県支部事務局長・水作り研究では定評がある）の講演で始まり、後半には参加者からの質問方式で研究会が進められました。井関さんは親しみやすい和歌山弁で、主に水作りの大切さを話され、参加者のみなさんは熱心にメモをとつたり質問をしたりして、約三時間に及ぶ研究会も時間のたつの

は早かったようです。

錦鯉飼育をしている人は、それぞれ自分流の病気対策を考え実行しておられることが多いですが、「各種病気に対する塩の効果、使用法、「水中溶存酸素の大切さ」、「当歳二歳時の雌雄判別法」など、参考になることも多かつたのではないかでしょう。

井関さんの話では、溶存酸素の多い池では鯉は病気になりにくい。鯉の病気の発生源は池底ヘドロから発生する亜硝酸で、これは溶存酸素量と反比例する。このことでまた、「窒素、磷酸、カリウムは、池の土を肥やすために入れているのですか？日本中どこでも窒素過多で脱窒素処理を真剣に研究しているのに、今なんのために窒素を入れるのか疑問です」とも話されました。



▶第三投票所（池谷）の投票風景（二年二月一八日）

投票は 国民の義務 そして 大切な権利

二月一八日衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票が行われました。

当日は朝から暖かい好天に恵まれ、絶好の選挙日和となり、有権者のみなさんの出足は上々のようでした。各投票所とも午前中に来て投票率五〇%を超えて、最終投票率は衆議院議員総選挙で九〇・五七%の高率となりました。

投票は国民の義務であり、またすべての国民に平等に与えられた権利です。今回の選挙では政党・候補者の政策の争点に消費税や農業問題が大きく取り上げられました。そのため、有権者のみなさんの感心は高く、それぞれ義務を果し、権利を充分に行使されたようです。

政党・候補者の政策の争点に消費税や農業問題が大きく取り上げられました。そのため、有権者のみなさんの感心は高く、それぞれ義務を果し、権利を充分に行使されたようです。

衆議院議員 総選挙 開票結果

二月一八日に投票が行われた衆議院議員総選挙の開票結果をお知らせします。

種芋原教員住宅が完成

1月13日に全室入居

昨年七月から建設工事が進められた種芋原教員住宅が完成しました。

木造の旧住宅が老朽化のために建てかえられたものです。場所も地区中心部の長谷川衣料品店隣で便利がよくなりました。完成して間もなく一月二三日には、旧住宅からの引っ越しを終りました。

新住宅への入居がすべて終りました。



当日の有権者数は男一、一〇五人、女一、一七一人の計二三七人で投票率九〇・五七%でした。

各候補への投票の内訳は、次のとおりです。（届出順敬称略）

●桜井 新 三一八票（当選）

●ほしの 行男 九九一票（当選）

●坂上 とみお 五九票

●丸山 久明 四票

●めぐろ吉の助 二二〇〇票（当選）

●村山 達雄 一七四票（当選）

●もろきと正典 六九票

●渡辺 秀央 二二六票（当選）

●西川 攻 一票

●坂上 とみお 五九票

●丸山 久明 四票

●めぐろ吉の助 二二〇〇票（当選）

●村山 達雄 一七四票（当選）

●もろきと正典 六九票

●渡辺 秀央 二二六票（当選）

●西川 攻 一票

全体止まれ!

時にはそれぞれの原点を見直すことも必要なのは……

一 ある放談会から

B 働き口はいくらでもある。

なのには村から出でていく。
原因是「住みにくさ」。居づらさです。

実は、自然農法に取り組んでいた友人がいるのですが、村の人たちに「あいつ、変わりもんだ」と悪口を言われるのだそうです。

とにかく、まわりと少しでも変わったことをやると、すぐ特別なレッテルを張りたがる。そして、異端視する……。こんなことで住みよいはずがありません。居よいはずがありません。

D しきたりやきまりなんかを

A ちょっとでも弱みを見せる

とダメ。家庭内にせよ、職場内にせよ、地域内にせよ、ミスやトラブルを起こすと、これが致命傷となつて尾を引く。よつたたかって袋だときです。こんなところが住みよいはずがありません。

そうさせている元凶は住民エゴである。

例えば、予算のバラマキを責めながら、わが田へ水を引いてくれない首長や議員へは票はやらない。意にそわない役場職員は一刀両断……。つまり、住民エゴが「票」をいかにしていただくかにきゅうきゅうとする首長や議員、身の保全にきゅうきゅうとする役場職員こんなことで、首長にビジョンを、議員に長期的総合的視野を、役場職員にやる気を出せ……といふううがどい無理ではないか。

村出身者、彼らにとって、「ふるさと」は、ノスタルジアを満足させてくれる場、一時的休養の場であつても決して生活の場ではない。ということで、彼らにとってはそういうふるさと、は、住んでいる人たちが安易に受け入れている節がある。住民自身が主人公から手伝い人と意識変容しているとでもいおうか。

これではいけない。「ふるさとの主人公は、あくまでもそこにはいる人たちでなければならぬ。そのあたりに出身者は気付き、住民は自覚する必要がある。

盾に新しい動きや変わった動きを抑え込もうとします。これもいやですね。

B 同じ内容のことを言つていのに、相手が肩書きがあるとか金持ちだと何の権力を持つている人の場合だと「ごもつとも、ごもつとも」、肩書きがないとか貧乏だと何の権力もない人になると「つまらんことを言いおつて……」となる。

A そうやってレッテルを張り、仕分けをし、体制順応的な空気に仕分けをしておくことが地域社会を温存し、支配管理していくためにはもつとも合理的だつたんでしょうね、いままで……。

C いろんな会合でいろんな人が「地域づくり」だの「ムラおこし」だのと立派なことばをブチ上げていますが、実はその裏側、その足元で肝心の「ひと」の活性そのものに水をさすようなことをやつて……。

A そして、あいもかわらず、「地域づくり」や「ムラおこし」の大合唱だけがぎやかに続いている……。

C 気がついたときは、意欲の念の披露、実行は得策ではない。いきおい「票」が減るかもしれないが、そのからだ。なせか、それはそこに「票」があるからだ。

D むしろ、いろんなことを考え出したり言いあつたりすることを強い。実はこの辺が「地域づくり」や「ムラおこし」を進めていて敬遠し、排斥する風潮のほうを余計なこと、流れを乱すことと異端視する……。こんなことで住みよいはずがありません。

A ちょっとでも弱みを見せるとダメ。家庭内にせよ、職場内にせよ、地域内にせよ、ミスやトラブルを起こすと、これが致命傷となつて尾を引く。よつたたかって袋だときです。こんなところが住みよいはずがありません。

D しきたりやきまりなんかを

首長と同じく「票」をとれるかどうかが彼らの一一大関心事。いきおい「票」が減るかもしれないが、「票」があるからだ。

二期二期と長の座にいたいのが人情となるとしても「票」が気になる。ということで、へたをすると「票」が減るかもしれない

いような個性豊かなビジョンや信念の披露、実行は得策ではない。いきおい「票」が減るかもしれない

のようだ。立派な「票」をとれるかどうかが彼らの一一大関心事。いきおい手つとり早く「票」につながる「住民エゴ優先型」「利益

的、コマギレの財源配分」へと傾いてしまう……。

議員長と同じく「票」をとれるかどうかが彼らの一一大関心事。いきおい手つとり早く「票」につながる「住民エゴ優先型」「利益

的、コマギレの財源配分」へと傾いてしまう……。

A そして、あいもかわらず、「地域づくり」や「ムラおこし」の大合唱だけがぎやかに続いている……。

C 気がついたときは、意欲の念の披露、実行は得策ではない。いきおい「票」が減るかもしれないが、「票」があるからだ。

A ちょっとでも弱みを見せるとダメ。家庭内にせよ、職場内にせよ、地域内にせよ、ミスやトラブルを起こすと、これが致命傷となつて尾を引く。よつたたかって袋だときです。こんなところが住みよいはずがありません。

D しきたりやきまりなんかを

住民質の悪い首長や議員や役場職員がもしいるとしたら、最大

書や企画書だけが乱発されることになる。創造力あるシンクタンク型職員が必要だ。

（体裁）とことばづかいだけは立派な、その実身中の無い各種計画書や企画書だけが乱発されることになる。創造力あるシンクタンク型職員が必要だ。

役場職員「一村一品」といえば「そぞそ」、「一・五次産業」といえば「はいはい」——の追随盲従型が目立つ。だから、表紙

（常識の間違い・その3）観光客などを單純に「困つたこと」としか受けとめられない風潮を生み、これが短絡的・性急な工場誘致や観光開発に結びつき、結果として年老いてからゆとりある住環境としての「地域社会」を自らの手でつぶしてしまつている……。

A そして、あいもかわらず、「地域づくり」や「ムラおこし」の大合唱だけがぎやかに続いている……。

C 気がついたときは、意欲の念の披露、実行は得策ではない。いきおい手つとり早く「票」につながる「住民エゴ優先型」「利益

的、コマギレの財源配分」へと傾いてしまう……。

A そして、あいもかわらず、「地域づくり」や「ムラおこし」の大合唱だけがぎやかに続いている……。

C 気がついたときは、意欲の念の披露、実行は得策ではない。いきおい手つとり早く「票」につながる「住民エゴ優先型」「利益



▲猫はこたつで丸くなる……はずなのですが。日なたぼっこをする猫。
(2月上旬 池谷で)

駐在所が統合 種芋原駐在所は廃止 警察から

かねてからの予定どおり、種芋原駐在所と竹沢駐在所が統合され虫龟地区を除く山古志村全体を竹沢駐在所が管轄することになりました。

統合は四月一日からです。長い間種芋原駐在所にご協力ありがとうございました。

今後は警察へのご意見、ご要望などがありましたら、竹沢駐在所へご連絡ください。また、事件、事故を見たり聞いたりしたら「一一〇番」へ通報してください。

なお虫龟地区については、從来利得優先・利益誘導など、性急かつ短絡的な発想から出発した。それは、彼らをしてそうさせていたり私たち自身の「間違った常識」にこそ問題があるということに

